

## 小3国語 出題のねらいと対策

### 1 漢字の読みとり 97.5%

**ねらい**：漢字を正しく読めるかを問う。

**分析と対策**：漢字には読み方がいくつもあるものがあります。出題された漢字には、ほかにどのような読み方があるのかを調べましょう。

### 2 漢字の書きとり 68.8%

**ねらい**：漢字を正しく書けるかを問う。

**分析と対策**：漢字を書くときは、線が一本たりないなどのまちがいをしてしまうことがあります。漢字の形を正しく覚えましょう。

### 3 送りがな 70.0%

**ねらい**：漢字の送りがなを答えられるかを問う。

**分析と対策**：送りがなは、あとに続くことばでその一部がかわるときには、形がかわる部分から送りがなになります。ただし、「美しい」のように「しい」で終わる形容詞は「し」から送る、「細か」などの「か・やか・らか」で終わる形容動詞は「か・やか・らか」から送る、ほかの読み方とわかりやすく区別するために送る、という決まりごともあります。

### 4 こそあどことば 85.0%

**ねらい**：こそあどことばを理解し、使い分けることができるかを問う。

**分析と対策**：こそあどことばは、そのことばだけで考えるのではなく、必ず文脈から読み取りましょう。話し手からの距離、ものや人、場所、様子のどれを指しているのかを文章から読みとることが大切です。

### 5 主語とじゅつ語 60.8%

**ねらい**：主語とじゅつ語を理解して答えることができるかを問う。

**分析と対策**：じゅつ語の部分である「どうする」「どんなだ」「何だ」の形をさがしましょう。そして、その部分に対応する主語を見つけましょう。

### 6 詩の読みとり 56.0%

**ねらい**：作者が何を感じてどのようなことを表現しているのかが読みとれるかを問う。

**分析と対策**：ペンギンが空を見ている様子について、作者が思ったことがかかれています。つばさを持ちながらも飛べないペンギンが、遠い南極を思いながら空を見ていると思うと、ペンギンのかなしい感情が伝わってくるようだと、かいせつ文にあります。

### 7 物語の読みとり 58.9%

**ねらい**：登場人物の行動から場面を理解し、それぞれの性格も読み取れるかを問う。

**分析と対策**：「きみどりのコンペイトウ」を食べれば「いたいのがどっかにとんでいく」と言い、女の子にあげます。ひとつぶ食べた女の子は、「ひざがまだいたいので、きみどりのコンペイトウをぜんぶほしい」と言います。ゆうたはこまりながらも、女の子のために「たからもののコンペイトウ」をあげます。ゆうたが女の子をなぐさめようとしている姿と、「コンペイトウをぜんぶほしい」という言葉にこまっている姿など、状況に応じた場面を読みとっていきます。

全体の平均点は 65.5点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。  
個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。